

## 授業計画詳細 / Course schedule

回 (日時) Time (date and time)	主題と位置付け (担当) Subjects and instructor's position	学習方法と内容 Methods and contents	備考 Notes
1	第1部 総論 第1回 民事訴訟法の世界への扉		
2	第2部 訴訟の主体 第2回 裁判所	(裁判権、管轄、移送、除斥・忌避・回避)	
3	第3回 当事者	(当事者の概念と確定、当事者能力、訴訟能力、訴訟上の代理)	
4	第3部 訴え 第4回 訴え	(概念と種類、訴えの提起)	
5	第5回 訴訟要件	(訴えの利益、当事者適格〔第三者の訴訟担当〕)	
6			
7	第4部 訴訟の審理 第7回 審理における当事者の弁論活動と裁判所の役割	(処分権主義、弁論主義、職権進行主義)	
8		(口頭弁論に関する諸原則等)	
9		(証拠、証拠の評価、証明責任)	
10	第5部 訴訟の終了 第10回 当事者の行為による訴訟の終了	(訴えの取下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解)	
11	第11回 終局判決による訴訟の終了	(終局判決、既判力の客観的範囲、主観的範囲、時的限界)	
12	第6部 複雑な訴訟形態 第12回 複数請求訴訟	(訴えの併合、訴えの変更、反訴、中間確認の訴え)	
13	第13回 多数当事者訴訟	(共同訴訟、訴訟参加〔補助参加、独立当事者参加〕)	
14	第7部 上訴・再審 第14回 上訴・再審		
15	第8部 特別の手続 第15回 略式訴訟手続	(手形・小切手訴訟、少額訴訟手続、督促手続等)	